

研究調査分科会の公募のご案内

日本設計工学会では、2012年10月より活動する研究調査分科会を会員の皆様から一般公募します。研究調査分科会は、会員のイニシアチブにより特定の研究テーマの探求を目的として設置される学術活動の場であり、現在4種類の分科会を設置することができます。

1. 公募する研究調査分科会の種類、予算

研究調査分科会はA種からD種まで4種類ありますが、今回公募を行う種別はA種・B種の2種類です。種別毎の設置の趣旨、予算等は下表のとおりです。

種別	趣旨・期間・予算等
A種	(趣旨)成果報告作成ができ、それを会誌、総会、研究発表講演会等で公表が期待されるもの (期間)2年間(2012年10月1日～2014年9月30日) (予算)7万5000円(半年毎に)
B種	(趣旨)ニーズ、シーズを調査し、A種分科会への発展が期待される予備調査を行うもの (期間)1年間(2012年10月1日～2013年9月30日) (予算)3万7500円(半年毎に)

2. 分科会設置申請の手続き等

①申請方法

申請書類を下記の事務局宛にご請求いただくか、日本設計工学会のホームページからダウンロードして、必要事項を適宜ご記入の上、事務局宛に提出してください。

なお、応募に当たってはホームページ上で公開している「研究調査分科会規程」を予めよくお読みになつてください。

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17

セラミックビル内

公益社団法人日本設計工学会事務局

URL: <http://www.jsde.or.jp/japanese/index.html>

②締切

2012年8月末日必着

3. 設置審査

研究調査部会において新規分科会の設置について審議させていただきます。審議の結果は研究調査部会長名で申請者に郵送でお伝えするとともに、設置分科会の種別、名称、主査につきましては学会誌及びホームページ上で公表いたします。学会の性格や財政上の理由から、ご希望に沿えない場合もございますので、予めご了承ください。

4. 分科会の運営

①運営の原則

設置された研究調査分科会の運営につきましては、主査の責任において原則「研究調査分科会内規」に従って行っていただきます。

②委員追加のための公募

委員の追加が必要な場合、会誌等にて公募することができます。応募者の採否は主査に一任されます。

③成果の公表

分科会の主査は、「研究調査分科会規程」に則り、活動及び成果の報告を行う義務があります。成果報告書の内容は学会誌のほか、学会のホームページ上で会員を対象に公開する予定です。

5. 最近の分科会設置事例

- ・日本の技術「からくり」に学ぶ創造性・ものづくりに関する研究調査分科会 (B:H16 主査:吉村靖夫)
- ・医療・福祉機械の設計方法に関する研究調査分科会 (A:H15, H16, 継:H17 主査:荒木勉)
- ・リサイクル設計、エココンシャス設計に関する研究調査分科会 (A:H15, H16, 継:H17 主査:勝田正文)
- ・表面性状の図示方法の実用化に関する調査研究 (A:H18, H19 主査:平野重雄)
- ・設計倫理に関する調査研究分科会 (B:H18 主査:徳岡直静)
- ・設計知識・製造技術の伝承と人材育成に関する研究調査分科会 (A:H18, H19 主査:綿貫啓一)
- ・日本文化を背景とする設計者倫理に関する調査研究分科会 (A:H19, H20 主査:徳岡直静)
- ・設計理論・方法論に関する研究調査分科会 (A:H20,H21 主査:綿貫啓一)
- ・バイオ燃料の製造・実用化トータルシステム設計に関する研究調査分科会 (A:H20,H21 主査:森棟隆昭)
- ・感情と設計に関する研究調査分科会 (B:H20 主査:福田収一)
- ・設計と感情に関する研究調査分科会 (B:H22 主査:福田収一)
- ・3D製図の標準化に関する研究調査分科会 (B:H22 主査:金田徹)